



防霜対策を万全に!!

《気象ニュース》

1月中旬以降に最強クラスの寒波が頻繁に到来し、川根本町や島田市、藤枝市の山間部を中心に雪が積もりました。【EC観測地点平均11月平均気温4.3℃、過去3年5.4℃】



写真:川根本町 土屋裕子様提供

《防霜対策》

防霜施設の点検は重要な作業です。防霜ファンの設定温度を3℃にし、柱の傾きやサーモスタットが設定温度で動作するか、ファンの角度や回転が正常かなど、今一度点検しましょう。また、遅霜対策や施肥時期を逃さないためにも、天気予報に関心を持ちましょう。

《春肥の施用》

春肥は品質向上に関係するといわれる有機質肥料(魚粕や骨粉など)を使った配合肥料を施します。**春肥の施用は、品質効果に影響**するための重要な作業です。施肥はできる限り分施し、早場所で2月下旬から3月上旬、遅場所で3月上旬が1回目の施用時期となり、2回目の施用は20日くらいおいてから施します。肥料は畝間にできるだけ幅広く施用し、土と良く混ぜ合わせましょう。

《整枝(ナラシ)》

秋整枝後に発生する、遅れ芽や整枝面が乱れたものを整えるために行います。これらを放置すると、一番茶に混入し品質低下を招きます。該当園は、**必ず化粧ナラシ**を実施しましょう。寒害の心配がなくなつたなるべく早い時期で、南部で

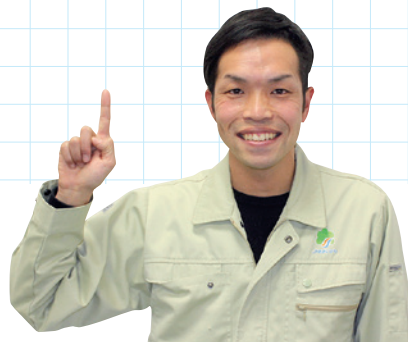
は2月下旬〜3月上旬、中山間地では3月上旬です。深さは、秋整枝よりも浅くし、越冬した芽を切らないように注意しましょう。

今月のワンポイントアドバイス!

「化粧ナラシは摘採面のペラペラを取る程度に！」

《病害虫防除》

今月からカンザワハダニが休眠から覚め、活動を始めます。休眠中は、鮮やかな朱色をしています。この時期の薬剤散布は効果が低いため、**休眠から覚めた頃(暗褐色)を目安に防除**しましょう。各地域で実施している発生調査も参考にしてください。



農業経営支援課
山本 尚充